

特別講演

自然災害研究協議会中国地区部会 令和6年度研究発表会

主催：自然災害研究協議会中国地区部会 共催：山口大学地域レジリエンス研究センター

2025年 2月22日 土 13:00~14:00

Zoomによるオンライン開催

参加費：無料

令和6年能登半島地震における地震と豪雨による連鎖型斜面災害の特徴とその課題

講師 酒井 直樹 氏

国立研究開発法人防災科学技術研究所 上席研究員
極端気象災害研究領域 水・土砂防災研究部門 副部門長

博士（工学）。専門は地盤工学、防災工学。
大型降雨実験施設を活用したIoTやAIを使った土砂災害メカニズム・モニタリング研究に従事。



概要

令和6年1月に発生した能登半島地震では、その後9月にほぼ同じ地域で100年に一度の豪雨が襲い、再び大きなダメージを受けた。強震動を受けた山間部では、地震により崩落したところ、壊れずに残った斜面が混在して不安定斜面として広く存在している。一方で地域住民は生活の再建のため、周囲の危険な状況まで気が及ばない。そのような中で、地震後に豪雨が襲う連鎖型斜面災害に対してどう備えたらいいのか、地域住民の視点から考える。

お申し込み方法

本講演会はZoomウェビナーを利用します。以下のホームページより**2/20（木）までに事前申込**をお願いいたします。お申し込みされた方は、自然災害研究協議会中国地区部会令和6年度研究発表会の一般講演も聴講いただけます（同日9:30~16:35）。

土木学会認定CPDプログラム：1単位

【お問い合わせ・お申込み】自然災害研究協議会中国地区部会事務局

〒755-8611 山口県宇部市常盤台2-16-1
山口大学地域レジリエンス研究センター防災・減災グループ事務局内
TEL:0836-85-9348 E-mail: cldpm@yamaguchi-u.ac.jp (担当：山本)

自然災害研究協議会中国地区部会 🔍

<https://www.ndrc-chugoku.org/>

